

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 福岡財務支局長

【提出日】 平成29年11月8日

【四半期会計期間】 第46期第2四半期(自平成29年7月1日至平成29年9月30日)

【会社名】 イフジ産業株式会社

【英訳名】 Ifuji Sangyo Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 藤井宗徳

【本店の所在の場所】 福岡県糟屋郡粕屋町戸原東二丁目1番29号

【電話番号】 092-938-4561(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 原 敬

【最寄りの連絡場所】 福岡県糟屋郡粕屋町戸原東二丁目1番29号

【電話番号】 092-938-4561(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 原 敬

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
証券会員制法人福岡証券取引所
(福岡市中央区天神二丁目14番2号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第45期 第2四半期 連結累計期間	第46期 第2四半期 連結累計期間	第45期
会計期間		自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日	自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
売上高	(千円)	6,747,325	6,913,349	14,248,396
経常利益	(千円)	309,513	265,297	681,300
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	209,076	256,019	533,492
四半期包括利益又は 包括利益	(千円)	228,910	273,059	559,770
純資産額	(千円)	4,605,470	5,067,101	4,869,258
総資産額	(千円)	9,881,316	10,845,313	10,650,648
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	25.10	30.73	64.04
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	46.6	46.7	45.7
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	165,854	497,018	1,062,587
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	879,455	364,486	1,306,464
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	300,798	265,464	434,122
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	997,940	1,468,056	1,600,988

回次		第45期 第2四半期 連結会計期間	第46期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日	自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日
1株当たり四半期 純利益金額	(円)	11.07	16.15

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善が見られ緩やかな回復基調で推移したものの、中国や新興国の経済成長の鈍化や海外における政治の不安定化や地政学リスクの高まり等を受けて、依然として先行き不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、原材料価格の上昇や人件費の高騰等により商品の値上げが続いており、消費者の生活防衛意識が強まることが予想されます。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、調味料関連事業において既存商品等の販売減により減少したものの、鶏卵関連事業において販売数量が前年同期比5.2%増と好調に推移したこと等により、前年同期比2.5%増の6,913百万円となりました。

損益につきましては、鶏卵関連事業において前期に実施した関東事業部の工場増設に係る減価償却費の増加や調味料関連事業の売上減少に伴う減益等により、営業利益は同15.1%減の255百万円、経常利益は同14.3%減の265百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、鶏卵関連事業において補助金収入116百万円を特別利益に計上したこと等により同22.5%増の256百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、主要な商品である液卵の製品販売単価及び原料仕入単価が鶏卵相場に連動して変動するものが多く、鶏卵相場が高く推移した場合は製品販売単価及び原料仕入単価ともに高く推移し、低く推移した場合は製品販売単価及び原料仕入単価ともに低く推移する傾向にあるため、製品販売単価と原料仕入単価の差益を一定額以上確保するとともに販売数量を伸ばす努力をしております。

当セグメントにおける業績の重要な指標である販売数量につきましては、マヨネーズ向けや冷凍食品向けへの販売が増加したこと等により前年同期比5.2%増となりました。売上高につきましては、主に販売数量の増加により液卵売上高は前年同期比4.3%増の5,916百万円となりました。また、加工品売上高は同4.6%減の290百万円、その他売上高は同0.4%減の141百万円となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の合計の売上高は、同3.7%増の6,348百万円となりました。

セグメント利益につきましては、主に前期に実施した関東事業部の工場増設に係る減価償却費の増加により前年同期比8.5%減の233百万円となりました。

調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、既存商品の販売や当社グループ内での輸入粉卵の委託加工等の販売が減少したこと等により、前年同期比15.7%減の570百万円となりました。

セグメント利益につきましては、主に売上高が減少したことにより、前年同期比65.7%減の14百万円となりました。

その他

当セグメントにつきましては、売上高は前年同期比25.6%増の15百万円となり、セグメント利益は同86.3%増の8百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は10,845百万円となり、前連結会計年度末に比べ194百万円増加しました。

流動資産は5,445百万円となり、前連結会計年度末に比べ322百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加214百万円、商品及び製品の増加222百万円、現金及び預金の減少132百万円等によるものであります。

固定資産は5,399百万円となり、前連結会計年度末に比べ127百万円減少しました。主な要因は、建物及び構築物の減少60百万円及び機械装置及び運搬具の減少113百万円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は5,778百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円減少しました。

流動負債は3,071百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加252百万円、短期借入金の減少218百万円等によるものであります。

固定負債は2,706百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円増加しました。主な要因は、長期借入金の増加28百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は5,067百万円となり、前連結会計年度末に比べ197百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益256百万円の計上及び配当金の支払い74百万円により利益剰余金が181百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の45.7%から46.7%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、前年同期に比べ470百万円増加し1,468百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、前年同期に比べ331百万円増加し497百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上381百万円、減価償却費の計上215百万円、仕入債務の増加252百万円等により資金が増加し、売上債権の増加214百万円、たな卸資産の増加289百万円、法人税等の支払い109百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用された資金は、前年同期に比べ514百万円減少し364百万円となりました。これは主に、前期に稼働した関東事業部の工場増設等に伴う有形固定資産の取得による支出355百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用された資金は、前年同期に比べ566百万円増加し265百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入240百万円、短期借入金の純減少額246百万円、長期借入金の返済による支出184百万円、配当金の支払額75百万円等によるものであります。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの経営方針・経営戦略等について、重要な変更はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題について、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(6) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は74百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,792,000
計	16,792,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成29年11月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,345,370	8,345,370	東京証券取引所 (市場第一部) 福岡証券取引所	単元株式数 100株
計	8,345,370	8,345,370		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年7月1日～ 平成29年9月30日		8,345,370		455,850		366,322

(6) 【大株主の状況】

平成29年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
藤井 宗徳	福岡市東区	1,221	14.63
宇高 紫乃	山口県山口市	675	8.10
藤井 智徳	福岡市東区	543	6.52
藤井 泰子	福岡市東区	427	5.13
株式会社福岡銀行	福岡市中央区天神2丁目13-1	394	4.73
宇高 真一	山口県山口市	342	4.11
宇高 和真	山口県山口市	340	4.07
藤井 将徳	福岡市東区	320	3.84
藤井 徳夫	福岡市東区	240	2.88
宇高 悠真	山口県山口市	207	2.48
計		4,713	56.48

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 15,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,257,200	82,572	
単元未満株式	普通株式 72,670		
発行済株式総数	8,345,370		
総株主の議決権		82,572	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式27株が含まれております。

【自己株式等】

平成29年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) イフジ産業株式会社	福岡県糟屋郡粕屋町 戸原東二丁目1番29号	15,500		15,500	0.19
計		15,500		15,500	0.19

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成29年7月1日から平成29年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,138,488	2,005,556
受取手形及び売掛金	2,041,752	2,256,159
商品及び製品	527,324	749,552
仕掛品	60,134	48,422
原材料及び貯蔵品	241,378	319,946
繰延税金資産	23,307	30,249
その他	95,193	40,306
貸倒引当金	4,335	4,335
流動資産合計	5,123,242	5,445,857
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,049,580	1,988,850
機械装置及び運搬具（純額）	1,381,625	1,267,976
土地	1,890,751	1,890,751
その他（純額）	28,947	43,524
有形固定資産合計	5,350,904	5,191,102
無形固定資産	23,408	19,735
投資その他の資産		
投資有価証券	134,690	160,952
その他	23,367	29,530
貸倒引当金	4,964	1,864
投資その他の資産合計	153,092	188,618
固定資産合計	5,527,406	5,399,456
資産合計	10,650,648	10,845,313

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	678,380	930,678
短期借入金	1,567,180	1,348,919
未払法人税等	125,590	112,526
未払消費税等	3,262	57,943
賞与引当金	59,656	62,659
役員賞与引当金		21,200
その他	701,742	537,354
流動負債合計	3,135,810	3,071,281
固定負債		
長期借入金	1,966,767	1,994,978
長期未払金	567,235	567,235
繰延税金負債	88,974	120,014
その他	22,602	24,702
固定負債合計	2,645,580	2,706,930
負債合計	5,781,390	5,778,212
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,850	455,850
資本剰余金	366,338	366,338
利益剰余金	3,997,330	4,178,378
自己株式	6,596	6,841
株主資本合計	4,812,922	4,993,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,335	73,376
その他の包括利益累計額合計	56,335	73,376
純資産合計	4,869,258	5,067,101
負債純資産合計	10,650,648	10,845,313

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	6,747,325	6,913,349
売上原価	5,613,878	5,815,387
売上総利益	1,133,446	1,097,961
販売費及び一般管理費	832,088	842,155
営業利益	301,357	255,806
営業外収益		
受取利息	244	129
受取配当金	974	1,206
受取賃貸料	12,180	12,160
その他	3,410	4,150
営業外収益合計	16,810	17,646
営業外費用		
支払利息	8,653	8,155
営業外費用合計	8,653	8,155
経常利益	309,513	265,297
特別利益		
補助金収入		116,710
特別利益合計		116,710
特別損失		
固定資産除売却損	6,201	326
特別損失合計	6,201	326
税金等調整前四半期純利益	303,312	381,681
法人税、住民税及び事業税	109,816	109,042
法人税等調整額	15,580	16,619
法人税等合計	94,236	125,662
四半期純利益	209,076	256,019
非支配株主に帰属する四半期純利益		
親会社株主に帰属する四半期純利益	209,076	256,019

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	209,076	256,019
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,834	17,040
その他の包括利益合計	19,834	17,040
四半期包括利益	228,910	273,059
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	228,910	273,059
非支配株主に係る四半期包括利益		

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	303,312	381,681
減価償却費	156,921	215,922
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,200	3,100
賞与引当金の増減額(は減少)	5,419	3,003
役員賞与引当金の増減額(は減少)	21,200	21,200
受取利息及び受取配当金	1,219	1,335
支払利息	8,653	8,155
補助金収入		116,710
固定資産除売却損益(は益)	6,201	326
売上債権の増減額(は増加)	187,132	214,407
たな卸資産の増減額(は増加)	185,629	289,083
仕入債務の増減額(は減少)	66,457	252,298
未払消費税等の増減額(は減少)	74,772	54,681
その他	80,011	182,920
小計	278,549	495,553
利息及び配当金の受取額	1,143	1,283
利息の支払額	8,721	6,922
補助金の受取額		116,710
法人税等の支払額	105,116	109,606
営業活動によるキャッシュ・フロー	165,854	497,018
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	204,500	204,500
定期預金の払戻による収入	204,500	204,500
有形固定資産の取得による支出	877,346	355,793
無形固定資産の取得による支出		670
投資有価証券の取得による支出	1,585	1,742
その他	523	6,280
投資活動によるキャッシュ・フロー	879,455	364,486
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	180,000	246,000
長期借入れによる収入	400,000	240,000
長期借入金の返済による支出	212,234	184,050
自己株式の取得による支出	167	245
配当金の支払額	66,799	75,169
財務活動によるキャッシュ・フロー	300,798	265,464
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	412,802	132,932
現金及び現金同等物の期首残高	1,410,742	1,600,988
現金及び現金同等物の四半期末残高	997,940	1,468,056

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
受取手形	千円	59,114千円
支払手形	千円	9,294千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
運賃	310,751千円	330,052千円
貸倒引当金繰入額	1,000千円	千円
賞与引当金繰入額	25,289千円	26,418千円
役員賞与引当金繰入額	21,200千円	21,200千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
現金及び預金	1,535,440千円	2,005,556千円
預入期間が3か月を超える定期預金	537,500千円	537,500千円
現金及び現金同等物	997,940千円	1,468,056千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月28日 定時株主総会	普通株式	66,648	8	平成28年3月31日	平成28年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年11月7日 取締役会	普通株式	66,646	8	平成28年9月30日	平成28年12月9日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月28日 定時株主総会	普通株式	74,971	9	平成29年3月31日	平成29年6月29日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には、東京証券取引所市場第一部に指定されたことを記念した記念配当1円が含まれております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年11月7日 取締役会	普通株式	66,638	8	平成29年9月30日	平成29年12月8日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,118,693	616,197	6,734,890	12,434	6,747,325
セグメント間の内部売上高 又は振替高	883	61,017	61,901		61,901
計	6,119,576	677,215	6,796,791	12,434	6,809,226
セグメント利益	254,907	42,031	296,939	4,417	301,357

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	296,939
「その他」の区分の利益	4,417
四半期連結損益計算書の営業利益	301,357

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,347,910	549,821	6,897,732	15,616	6,913,349
セグメント間の内部売上高 又は振替高	833	21,046	21,879		21,879
計	6,348,744	570,867	6,919,612	15,616	6,935,228
セグメント利益	233,146	14,428	247,575	8,231	255,806

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	247,575
「その他」の区分の利益	8,231
四半期連結損益計算書の営業利益	255,806

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	25円10銭	30円73銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	209,076	256,019
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	209,076	256,019
普通株式の期中平均株式数(株)	8,330,944	8,329,962

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第46期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）中間配当について、平成29年11月7日開催の取締役会において、平成29年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

中間配当金の総額	66,638千円
1株当たりの金額	8円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成29年12月8日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年11月8日

イフジ産業株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 竹之内 高 司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 寺田 篤 芳 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイフジ産業株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成29年7月1日から平成29年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イフジ産業株式会社及び連結子会社の平成29年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。